

クリエイティブ
アジアフォーラム
in KOBE

2011年3月21日 | 月・祝 |

13:00 ~ 18:00 フォーラム

12:00 ~ 19:00 パネル展示

神戸国際会議場 国際会議室 301
参加費 = 無料 定員 = 200名 (事前申込)
<http://cafkobe.jp>
主催 神戸市

- ① カトリーナ家具プロジェクト
- ② 大地を守る会
- ③ A Bridge Too Far プロジェクト
- ④ ADA (米国障害者協会) の広告
- ⑤ CMC 黒橋 コミュニティセンター
- ⑥ 「記憶」のモニュメント

いま、デザインに何ができるのか？

creative
Asia
Forum
in KOBE

- セルジオ・パレローニ
- マエキタミヤコ
- エドワード・ン
- ジェスキ
- ステファニー・チュウ
- かわいひろゆき
- 佐々木雅幸

神戸市では、デザインのチカラを、多様化する地域社会問題の創造的解決や都市の魅力向上につなげることで、新たな魅力と活力を創り出し、くらしの豊かさを創造する創造都市戦略「デザイン都市・神戸」を推進しています。

本フォーラムでは、アジアのユネスコ創造都市ネットワーク・デザイン都市[※]をはじめ、国内外で展開されているデザインのチカラを地域社会問題の創造的解決に活かす取り組み、いわゆるソーシャルデザインに関する事例の紹介やディスカッションを通じて、「いま、デザインにできること」を神戸から発信します。

※「ユネスコ創造都市ネットワーク・デザイン都市」

異なる文化の相互理解をめざすユネスコ（国連教育科学文化機関）が、文化的な産業の強化により都市の活性化をめざす世界の“創造都市”の連携による相互交流を援助するため、2004年に創造都市ネットワークを創設しました。文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート、食文化の7分野が設定されており、27都市が加盟しています。神戸市は2008年10月16日にデザイン都市に認定されました。アジアのデザイン都市は、神戸・名古屋・深圳・上海・ソウルの5都市です。【加盟都市は、2010年11月現在】

出演者プロフィール（敬称略）



セルジオ・パレローニ Sergio Palleroni

ポートランド州立大学教授 / 建築家

<http://www.basicinitiative.org/>

1986年、サステナブル建築の研究機関「ベーシック・イニシアチブ」を創立。これまでにアメリカ、メキシコ、インド、台湾などでプロジェクトを手がける。2005年には、アメリカ南部を襲ったハリケーンカトリナによって生じた廃材を使用した家具製作プロジェクトを実施。学生を中心に、大学や国連、政府機関と連携し、住民の意向を満たすサステナブルデザインを考案、地域の人々の協力を得ながら建設作業を進める方法で、社会課題や環境問題に取り組む活動は世界的な評価を得ている。



マエキタミヤコ

Miyako Maekita

クリエイティブ・ディレクター
コピーライター

<http://www.sustena.org/>

サステナ代表。1994年よりNGOの広告に取り組み、エコ・ライフスタイル・メディア「エココロ」編集主幹。「100万人のキャンドルナイト」よびかけ人代表幹事。2009年、名古屋において里山開発から都市にある数少ない緑地を守るための政策提言を市民の手で編み出す「第1回なごやみどりダイアログカフェ」を開催。2010年には「名古屋生物多様性パンフレット」を手がけている。



エドワード・ン

Edward Ng

香港中文大学教授
建築家

<http://www.edwardng.com/>

香港中文大学や香港政府、中国政府など、幅広い立場で環境とサステナビリティに考慮したデザインの開発に携わっている。2004年には、毎年洪水で流されていた中国甘粛省の橋を架け替える「A Bridge Too Far」プロジェクトに参画。地域で調達可能な資材と修復が簡易なデザインは、社会課題を解決する手法として世界的な評価を得ている。



ジェスキ

JESKI

アートディレクター

<http://www.jeski.org/>

ニューヨークのスクール・オブ・ビジュアル・アーツにおいて広告学科を首席で卒業後、広告代理店勤務を経て独立。これまでにLG、Hyundai、KRAFT（Oreo）などの広告を手がける。環境、平和、健康、貧困、教育を始めとした世界の社会問題について、人々の注意を喚起する広告も数多く発表し、国際的な注目を集めている。



ステファニー・チュウ

Stephanie Chu

建築家

<http://shanghai.architectureforhumanity.org/>

カーネギーメロン大学卒業後、香港、カタール、アメリカなどで数々のソーシャルデザインプロジェクトに参画。2010年に仲間たちとともにArchitecture for Humanity Shanghaiを設立。中国都市部の移民の子どものためのコミュニティセンター建設プロジェクトや、高齢者のための住宅改修プロジェクトなど幅広い活動を行っている。



かわいひろゆき

Hiroyuki Kawai

神戸芸術工科大学
ビジュアルデザイン学科教授

<http://visual.kobe-du.ac.jp/faculty03.html>

広告デザインの企画・制作と現代アートを専門とする一方で、社会連携・大学間連携を核としたアート&デザイン企画も手がける。国内外で多数の個展やグループ展を開催、受賞歴も多数。2010年には、阪神・淡路大震災の記憶を共有し、命の尊さや絆の大切さを学び、未来へつなげる「ヒトキズナ+ふるじえくと」を展開。神戸ルミナリエの会場でパフォーマンスを行った。



佐々木雅幸

Masayuki Sasaki

神戸市創造都市ネットワークアドバイザー

<http://www.creativecity.jp>
<http://www.creative-city.net>

大阪市立大学大学院創造都市研究科教授、同都市研究プラザ所長。2010年にエルゼビア社から刊行された国際学術誌 City, Culture and Society (CCS) の編集長。文化経済学会<日本>会長（2008年-2010年）。著書に『創造都市の経済学』『創造都市への挑戦』等。日本における創造都市研究の第一人者として知られる。

スケジュール

- 12:00 開場・受付開始
- 13:00 開会挨拶 齊木崇人（神戸市統括監）
基調講演 セルジオ・パレローニ
事例紹介 マエキタミヤコ
事例紹介 エドワード・ン
休憩
- 14:45 事例紹介 ジェスキ
事例紹介 ステファニー・チュウ
事例紹介 かわいひろゆき
休憩
- 16:00 パネルディスカッション
コーディネーター 佐々木雅幸
全体討論
- 18:00 終了

パネル展示（12:00-19:00）

フォーラム会場フロアのロビーにて、国内外におけるソーシャルデザインの先進事例を紹介するパネルを展示いたします。

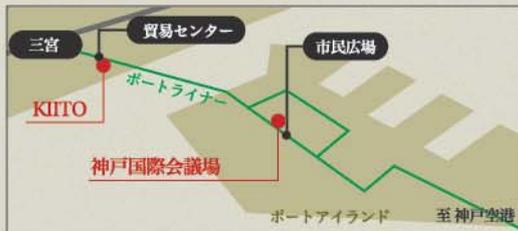
会場

神戸国際会議場 国際会議室 301

神戸市中央区港島中町 6-9-1 Tel: 078-302-5200

ポートライナー「市民広場駅」すぐ

（阪急「三宮駅」、阪神「三宮駅」、JR「三ノ宮駅」にてポートライナーにお乗換え下さい。）



交流会 タイアップイベント

日時：3月21日 19:00～21:00

場所：KIITO（神戸商工貿易センタービル 26階 2620号室）

ポートライナー「貿易センター駅」すぐ

<http://www.kobe-designhub.net/kiito/>

参加費：3,000円 定員：100名（事前申込制）

企画・運営：CAFKOBE ボランティア

参加申込（先着順。定員になり次第、受付を終了します。）

定員 200名（事前申込）

申込み方法
1 右記の「クリエイティブアジアフォーラム in KOBE」公式ホームページの「参加申込フォーム」からお申込みください。なお、申込みは、定員になり次第締め切らせていただきます。
TEL / FAX 06-4965-4717（「クリエイティブアジアフォーラム in KOBE」事務局）

申込み方法
2 以下のメールアドレスに、必要項目を記入のうえ送信してください。事務局より申込完了のメール返信をいたします。
✉ entry@cafkoobe.jp
記入事項：お名前（フリガナ）、性別、年齢、所属（会社・学校等）、住所、電話番号、交流会参加の有無

※携帯メールからのお申込みの場合、迷惑メール対策などを設定されている方は、返信のメールを受信できない場合があります。

PCからのメール受信ブロックを解除していただくか、「cafkoobe.jp」のドメインを受信指定してください。

※参加申込みに係る個人情報、本フォーラムに関する目的以外には使用しません。

ホームページ <http://cafkoobe.jp>

お問い合わせ

「クリエイティブアジアフォーラム in KOBE」事務局

株式会社 studio-L 内

e-mail info@cafkoobe.jp TEL / FAX 06-4965-4717

神戸市企画調整局デザイン都市推進室

TEL 078-322-6570 FAX 078-322-6051